

平成25年度第4回瑞浪市地域公共交通会議 会議録

会議の日時	平成26年2月25日(火) 午後1時30分
会議の場所	瑞浪市役所4階全員協議会室
出席者	委員 磯部友彦(中部大学) 木村治史(岐阜運輸支局、松井茂久 代理) 松田勲(岐阜県公共交通課、瀨瀨貴広 代理) 加納正男(多治見警察署、伊藤直幸 代理) 小椋昭司(多治見土木事務所) 山田芳喜(岐阜県バス協会) 門間實(東濃鉄道、若尾和之 代理) 山田和洋(平和コーポレーション、林世紀 代理) 橋本 清(平和コーポレーション) 三輪勝彦(大湫町コミュニティ推進協議会) 大山理晴(瑞浪市連合自治会) 石井一広(瑞浪市PTA連合会) 西脇弘司(東濃厚生病院) 勝 康弘(瑞浪市副市長) 伊藤明芳(瑞浪市市民福祉部長) 可知勝宏(瑞浪市教育委員会事務局長) 遠藤三知郎(瑞浪市経済環境部長) 木村伸哉(瑞浪市建設水道部土木課長)
欠席者	事務局 成瀬篤(商工課長)、鈴木創造、吉田和史 委員 福沢昇(多治見砂防国道事務所)

1. 開会

司会(商工課長)

お時間が参りましたので、これより平成25年度第4回瑞浪市地域公共交通会議を始めさせていただきます。私、本日の司会・進行を務めさせていただきます、商工課長の成瀬でございます。宜しくお願ひ申し上げます。最初に、本日の資料の確認をさせていただきます。(資料の確認)

2. 会長あいさつ

司会(商工課長)

会議に先立ちまして勝会長からご挨拶をお願いします。

会長(副市長)

みなさん、こんにちは。本日大変お忙しい中、第4回瑞浪市地域公共交通会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。この2週間前後の雪で瑞浪市も大変な

大雪に見舞われまして一部、県道では未だ通行ができない状況です。避け合いながらでなければ通れない、1台が通ったら避けて待っていなければならない状況であります。幸い甚大な被害はなかったのですが、なるべく早く改善されればと思っております。

今年度の地域公共会議は、地域公共交通連携の策定に向けてアンケートの方法、現状分析、具体的な案の検討等を行っていただきました。本日は地域公共交通会議のもう一つの課題である市民の生活に必要な交通手段の確保、利便性の向上としまして、市のコミュニティバスの運行について、また協議してまいりました地域公共交通総合連携計画の2点についてご審議いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

本日の会議の議事につきましては、要綱の規定により会長が指名することになっていきますので、副会長であります中部大学教授の磯部先生にお願いしたいと思っております。委員の皆様には慎重なる議論を宜しく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。それでは、当会議の成立についてご報告申し上げます。資料1の出席者名簿をご覧ください。2番 国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局木村様は運輸企画専門官の松井様に、4番 岐阜県都市建築部公共交通松田様は公共交通課の瀨瀨様に、5番 多治見警察署交通第一課長加納様は交通規制係長の伊藤様に、代理で出席をいただいております。また、3番の多治見砂防国道事務所 福沢様は、ご欠席の連絡をいただいております。

本日、委員19名中過半数のご出席がありましたので、要綱第6条第2項の規定により、当交通会議が成立しましたことを報告させていただきます。また、当交通会議は、要綱第6条第6項の規定により、原則公開となっておりますので、ご承知をお願いします。

なお、本日の交通会議の議事録署名者を、瑞浪市連合自治会の大山理晴様にお願いしたいと思いますので、宜しく申し上げます。それでは、協議事項に入りたいと思っております。先程、勝会長より議長の指名がありました、中部大学の磯部先生にお願いしたいと思いますので、宜しく申し上げます。

議長（磯部先生）

ご指名をいただきましたので、議長を務めさせていただきます。宜しく申し上げます。それでは議題に入ります。前回の会議が12月でしたので簡単におさらいをしたいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料2に基づき説明）

議長（磯部先生）

ありがとうございました。それでは議題に入ります。

3. 協議事項

(1) 瑞浪市コミュニティバスの運行経路等の変更について（平成26年4月改正）

議長（磯部先生）

議題1 瑞浪市コミュニティバスの運行経路等の変更について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料3、資料3-2、瑞浪市コミュニティバス時刻表に基づき説明）

議長（磯部先生）

ありがとうございました。ただいま、事務局より平成26年4月からのコミュニティバスの変更について説明がありました。この説明について、ご意見、ご質問はございませんか。

議長（磯部先生）

それではお諮りします。議題1 瑞浪市コミュニティバスの運行経路等の変更について、原案のとおりご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

委員

異議なし。

議長（磯部先生）

異議なしとます。議題1については原案のとおり承認されました。

(2) 瑞浪市地域公共交通総合連携計画について

議長（磯部先生）

続きまして、議題2 瑞浪市地域公共交通総合連携計画について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料4、資料4-2、資料4-3に基づき、パブリックコメントにかける連携計画案を説明）

議長（磯部先生）

ただいま、事務局より議題2について説明がありました。連携計画策定の前に、市民向けにパブリックコメントを実施するための案を出していただいたわけですが、ご意見、ご質問等はございませんか。

国土交通省岐阜運輸支局（代理松井運輸企画専門官）

8ページに2つの上位計画を記載していますが、本連携計画については上位計画との整合性を図っていくという内容を盛り込んでいただきたい。また、基本方針の1つとして「コミュニティバスとス

クールバスとの一体的な運用を目指す」とありますが、問題点にも記載していただきたい。基本方針に「公共交通機関の機能分担と連携強化によるネットワークの再構築を目指す」とありますが、6章の具体的な施策メニューに無いので、例えばコミュニティバスと鉄道または東鉄バスとの接続を書き加えていただきたい。57ページの目標について、検証可能な具体的な数値目標を記載しているが、もう少し理念的な目標を検討していただきたいと思います。

議長（磯部先生）

地域公共交通の目標については、コミュニティバスに絞り込まれた数値であることに懸念があるため、公共交通全般とした総合的な目標があるとより良いと思います。目標の2つ目については、コミュニティバスの利用者数に特化されていると思います。

岐阜県バス協会（山田委員）

66ページの「②コミュニティバスの運賃低廉化等」は、運賃が安くなれば行政負担額3300万円が今より増加する考えだと思います。しかし、行政では負担してもいいとアンケートではあるが運賃に関してはどうすると言っていないです。運賃が安くなることは良いことですが、裏付けがなく運賃が安くなることは可能なのでしょうか。今よりコストが増えるのではないのでしょうか。行政の負担がどの程度増えるのか考え運賃制度の導入で、どの程度でとどまるのでしょうか。

会長（瑞浪市副市長）

交通の理想として現実を踏まえ、良い状況にしていきたいです。財源の話は別の機会で議論を行いたいです。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

一番、肝心なのは料金です。コストを縮減することが全体的な捉え方であるが、市民の皆さんへ送り込むことが可能なのか不安があります。

岐阜県バス協会（山田委員）

アンケートの中で料金を安くして良い等の意見が少ない中で、行政負担が増加することが危惧しています。「適正な運賃制度の導入」の方が良いのではないのでしょうか。

会長（瑞浪市副市長）

行政の立場から言わせていただくと、運賃は市の政策の話で、市の公共交通計画の中で触れなくても連携計画の体系的な部分で整理した方が良いと思います。パブリックコメントの前では入れなくても良いのではないかと。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

地域協働事業ですが、地域任せになっているように捉えてしまう。申請主義のため下からあげていけないというふうにつえられてしまうことが心配です。

会長（瑞浪市副市長）

申請主義という考えはなく、全地区に説明を行ったので行政と地域を一緒に行っていきたくたいです。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

コーディネーターがないこと、地域でまとめるリーダーがないことが心配です。行政で行う方法はないのでしょうか。

会長（瑞浪市副市長）

行政で行う方法もありますが、ワークショップを作り第三者に入ってもらう方法もあります。

まちづくり条例についても検討しておりますし、まちづくり推進協議会があるので、このような形は取っていけると思います。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

まちづくり条例について検討されているということですが、まちづくり推進協議会のあり方をしっかりと規定できないのでしょうか。

会長（瑞浪市副市長）

まちづくり推進協議会には地域の考えをまとめてもらいたい。税源や人的支援も行っているので活用していただきたい。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

条例の中で位置づけを定めることは可能でしょうか。

会長（瑞浪市副市長）

条例の中では不可能です。

議長（磯部先生）

運賃の低廉化だけでなく、公共交通ネットワークとしては乗継についても考えていかなければならないと思います。

平和コーポレーション株式会社（山田委員）

66ページの「②適正な運賃制度の導入」についてはコミュニティバスだけでなく、鉄道、路線バス、タクシーとの連携についても記載することが必要ではないか。記載する場合、平成27年度から30年度の間で、どの程度まで行うつもりですか。コミュニティバス運賃の低廉化とありますが、10年間で燃料費、車両費、人件費が上昇している中で、今まで以上に税金を投入されることが懸念され、事務局側の考えと相違がないのか疑問に思います。コミュニティバスの運賃については、平成26年の1年間で調整を行うことは難しいのではないかと事業者としては思います。

岐阜県バス協会（山田委員）

コミュニティバスの収支率は20%前後ですが、仮に全て100円となると10%に落ちてしまいます。利用者としては安くても行政に負担がかかれば、ジレンマがあるので調整を行って欲しいと思います。アンケート結果では運賃が高いという意見がほとんど出ていないので、ワークショップの意見を反映して欲しいと思います。

議長（磯部先生）

利用者に負担を負って欲しいのか、あるいは減らしたいのか、減らすということではあれば行政の負担が増えてもいいということなのか、どのような方針を持っているのかで扱いが変わってくると思います。

事務局

アンケート結果に反映はされていないが、運賃についてはゾーン運賃を導入している地区と市街地では運賃の差異があることが問題意識を持っています。ご指摘のように運賃の低廉化を連携計画に挙げることにしても懸念されます。しかし、公平性に関して長い距離を乗車するため、高い運賃であるという点はコミュニティバスの運営としても検討する余地があります。運賃の低廉化については、委員のご意見を踏まえ記載しない方向で検討したいです。

会長（瑞浪市副市長）

運賃の低廉化だけコミュニティバスに特化しているため、「①コミュニティバスの再編」に盛り込んだ方がよいのではないのでしょうか。

議長（磯部先生）

コミュニティバスの再編に当っては、路線バスなどのダイヤなど乗継のしやすさもあります。

事務局

様々な公共交通機関の乗り継ぎのし易さの確保という観点で、②にまとめさせていただきます。運賃に関しては、「①コミュニティバスの再編」の中で、運賃の増減に関しては記載しないで、適正化や公平化という形で表現します。

東濃鉄道株式会社（門間委員）

59ページに民間路線バスの運行サービス水準について記載されていますが、様々な捉え方ができてしまいますので、どのような受け止め方をすればよろしいでしょうか。また、運賃等に関しては何かあったら私どもも一緒になって話しを進めていくよう協力したいです。さらに、時刻表の作成については、年2回程、JRの時刻表改正に合わせて行っているため、時刻表作成前に一緒になってご相談をさせていただきたいので宜しくお願いします。

事務局

民間路線バスの対象は東鉄バスですが、幹線公共交通を運行し、重要な公共交通機関であるという認識があるため、具体的には現行の便数を確保していただきたいというものです。

東濃鉄道株式会社（門間委員）

民間バス事業者自体、どの事業者も厳しい状況にあり、補助路線以外は何とか経費の削減で維持していますが、今後は補助路線をどうにかしなければならぬという考えを持っているため、それを踏まえて話をさせていただけるのであれば今後の相談等をしたいので、宜しくお願いします。

瑞浪市PTA連合会（石井委員）

61ページのコミュニティバスの評価の中で、陶地区について東鉄のバスを利用するという前提になっていますが、概要版には記載されていない。概要版の記載は、コミュニティバスだけなのか、東鉄バスも含めてなのか混乱するため、パブリックコメントを募集するなら、概要版にも記載していただきたい。

議長（磯部先生）

パブリックコメントでは、コミュニティバスだけなのか、全体的な公共交通なのか、どのような意見を募集するのか説明をつけないと混乱すると思います。

瑞浪市PTA連合会（石井委員）

陶地区と小学校の間でスクールバスが運行されるため、有効活用した方が良くと思います。

瑞浪市連合自治会（大山委員）

68ページに秦野市のデマンド型割引運賃の事例が記載されていますが、良いことが書いてあると地元が期待するのではないかと。

会長（副市長）

事例は、市が実施したい方針だと市民は捉えます。この場で話すときに事例を出すのは分かり易いと思いますが、パブリックコメントでは事例を記載することに懸念があります。

瑞浪市経済環境部長（遠藤委員）

パブリックコメントの結果が重いです。希望の大きいものは出さない方が良くと思います。

事務局

パブリックコメントまで時間がないたため、今日のご意見が反映されたものを修正致します。修正版については会長と副会長にご確認するということが宜しいでしょうか。あるいは全委員にご確認していただいた方がよろしいでしょうか。

議長（磯部先生）

今回の議論で大きく訂正しようと思われる箇所は、どの部分でしょうか。

事務局

1点目に、コミュニティバスに特化している点について、他の公共交通についても言及しなければならないと思っています。2点目に、料金の低廉化については削除するか、あるいは表現を変更することにします。3点目に、基本方針では連携強化ということ掲げているので、具体的な公共交通機関同士の接続等の具体的施策として書き込みます。

議長（磯部先生）

ただいま事務局より、議題2について説明がありました。検討の方針について、前回のこともあり再々変更ということであります。連携計画策定の前に市民向けにパブリックコメントを実施するため

の案を出していただいたわけですが、これについて、ご意見、ご質問等ございませんか。

それでは御諮りします。議題2 瑞浪市地域公共交通総合連携計画について、原案のとおり承認し、パブリックコメントを実施するという事でよろしいでしょうか。

委員

(異議なし)

議長 (磯部先生)

異議なしと認めます。議題2について、承認されました。それでは、協議事項は以上となりますので、これにて議長を降りさせていただきます。皆様には慎重審議をしていただきまして、誠にありがとうございました。

司会 (商工課長)

磯部先生ありがとうございました。

それでは、今後のスケジュールにつきまして、担当より説明させていただきます。

事務局

(日程説明：パブリックコメントの実施、次回公共交通会議の案内)

司会 (商工課長)

担当より説明いたしましたが、ご質問等ございませんでしょうか。宜しいでしょうか。それでは、長時間にわたり慎重審議をしていただきまして、ありがとうございました。これをもちまして、平成25年度第4回瑞浪市地域公共交通会議を終了させていただきます。

(午後3時30分閉会)

平成26年3月13日

議事録署名者 大山理晴